

月刊

GPP



Vol.49

令和元年11月号

株式会社
グロースパートナーズ

世の中から必要とされること

感覚では11月と言えば「秋も深まり・・・」だったと記憶しているが、いまだに半袖で朝晩には上着をおる気候。外苑のイチヨウが本当に黄色になってくるのか、不安さえ覚える。

9・10月と立て続けに台風被害に見舞われた日本。

思い出すのは5年前の8月、広島県安佐南区における土砂災害である。

大変不幸な災害（前線が長期間滞在することによる長雨と、真砂土質の急斜面を造成した地区）であったが、セルドロンは水害時の復旧、それも浸水したての場所の泥の撤去には最適であることを身をもって体験することが出来た。今回の水害においても、松山市在のセルドロン販売代理店である東昇商事及び大吉財団のご厚意により、長野県におけるボランティア活動にセルドロンが活躍させて頂いたと伺った。

この水害復旧だが、水害が起こってからアクションを起こしてもなかなかお役に立てる場面が少ない。なぜなら、現場は戦場と化していて提案を受け付ける、というよりそもそもそういう話を出来る雰囲気にはない。事前に、つまり平時に話を詰めておく必要があり、これから頻繁に起こるであろう水害に備えて、事前に各自治体と話をしていくのが今後の我々の命題である。

実はこの水害直前に長野の自治体と農業用ため池の改修工事へのセルドロン利用のプレゼンをさせて頂いたのだが、いまだ復興途中で多忙を極める中にもかかわらず、二回目の会合のお話を頂戴した。

一方、エチオピア・MNGDプロジェクト。11月中にエチオピアに向けて我々がセルドロンが40FTコンテナでいよいよ旅立つ。来年2月に実施される試験施工に使用される為だ。

MNGDプロジェクトにおいてセルドロンは現地調達に命題である為、今回が最初で最後の出荷となる。貿易実務は長年経験してきたが、さすがにエチオピアへの輸出は初めての経験。

エチオピアは内陸部である為、お隣のジブチで陸揚げし、内陸輸送でエチオピアに向かうのだが、地図を見れば隣接するのは“あの”ソマリア。今月末に横浜を出港する貨物船は、上海を經由してジブチに丁度2020年1月1日に到着するが、そこからのエチオピア陸送がプラス1～2週間とかなりの広幅なのがアフリカっぽい。

因みにジブチ港からは約400KM距離で、日本からの全工程は約50日を要する。

地球はまだまだ広いのである。

この他、新たな用途開発が進んでいくなか、必要とされることはメーカーとしては本当にうれしいものだ。着実に前に進んでいこう。

藤井 成厚

セルドロン採用報告

その1. 特殊な生コンに

今回は、特殊な生コンの処理にセルドロンが活躍いたしました。

新しい工法を検討された特殊な生コンであったため、プラントへの返却など処理が難しい物でした。

細かい情報が伝えられない現場とのことで詳細は書けませんが、そのほかにも、超高強度生コンや繊維入り生コン、水中不分離性生コンなど処理が困る生コンにはお試しください。

モルタルのような材料でも対応可能です。

特殊なモルタルでも、とにかくすぐに流動性を低下させたいときはセルドロンが有効です。

その2. 地下現場で

都心部は、地下の改修工事などがよく行われております。

そのような現場は、作業スペースがなかったり、深夜工事が多いです。

生コンやモルタルの処理はどうしても困ってしまいます。

セルドロンを準備しておくことで、翌日までそのままにしておけないものをすぐ処理できる状態にいたします。

地下トンネル、地下鉄などでお困りの場合はお試しください。

その3. アスベスト除去に

今までは、汚泥や生コンなどに活用することが多かったですが、今回は、アスベスト除去で採用に至りました。

さらに、リピートで追加発注が来ております。

アスベスト除去には、様々な工法がありますが、ウォータージェットを利用した場合、汚水が発生してしまいます。

汚水の処理を簡単にするためにセルドロンが活用できます。

また、処分費は重量計算されますが、セルドロンで重量を抑えることができれば(脱水等)、セルドロンの比重(かさ密度)は、0.3g/cm³程度の軽い材料のため、処分費用も抑えられます。

近々にアスベスト処理会社へ訪問予定です。

その4. 山の土砂撤去に

10月は大雨による大きな土砂災害が発生してしまいました。

今回も土砂の撤去のため、様々な場所へセルドロンが送られていきます。

いつもよりも大規模な使い方になったのが、山の軟弱土処理でした。

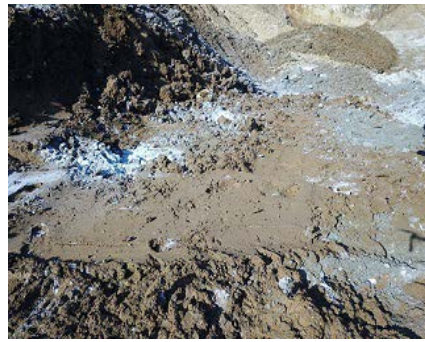
元々山の表面を削っており、山の表面の土が露出した状態だったため、雨水が粘土やシルト分に含まれて、斜面を流れてしまうような状況でした。

少しでも雨が降ってしまうと、仮設道路に軟弱土が流れ出てしまうため、セルドロンですぐに運搬するように改質しました。セルドロンが水分を吸水することにより、水漏れしにくい土壌になります。

本来の含水量から考えると考えられない状態に変わります。

さらに、乾燥ばっ気していくことでより安定します。

セルドロンは、pH8程度なので石灰のように、強アルカリを示すこともありません。植物などの影響も少ないです。山など植物が多いところでも使用したい場合は、ご連絡ください。



その他ご不明な点がございましたらお気軽にご連絡ください。